

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC07オーメット[®])

2025年 2月

鳥取アスコン 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫

1. 使用材料の種類及び产地

材料の種類		製造会社名		産地		材質	
碎石6号		坂田碎石工業株式会社		岡山県久米郡久米南町		硬質粘板岩	
再生骨材		鳥取アスコン株式会社		鳥取県鳥取市古海		再生骨材	
粗砂		住若海運株式会社		佐賀県唐津市		天然砂	
細砂		有限会社仁徳砂利		鳥取市伏野		天然砂	
石粉		足立石灰工業株式会社		岡山県新見市足立		石灰岩粉末	
CBバインダーK		日進化成株式会社		岡山県玉野市玉原		再生改質As	
RJ-T		竹中産業株式会社		東京都千代田区鍛冶町		大西 康夫	

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC0フォームト)

試験者 大西 康夫

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	碎石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉				
通過質量百分率%	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19	100.0								
	13.2	98.9	100.0	100.0						
	9.5									
	4.75	5.2	66.8	99.4						
	2.36		44.5	88.1	100.0					
	1.18									
	600 μm		30.2	35.2	99.0					
	300		20.3	12.3	71.6	100.0				
	150		12.0	2.8	4.1	98.1				
	75		9.1	1.0	1.1	88.4				

性状試験

試験項目	碎石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉					
密度	表乾	2.682	—	2.592	2.589	—				
	かさ	2.662	—	2.556	2.545	—				
	見掛け	2.717	—	2.651	2.661	2.710				
吸水率 / 水分量 %	0.76	—	1.41	1.72	0.02					
すりへり減量 %	11.1	—	—	—	—					
安定性 %	0.9	—	5.3	1.3	—					
微粒分量試験 %	—	1.7	—	—	—					
軟石含有量 %	0.6	—	—	—	—					
偏平細長石片 %	1.0	—	—	—	—					
単位容積質量	1.554	—	1.654	1.547	—					
粘土塊量 %	0.03	—	—	—	—					
最大密度	—	2.491	—	—	—					
旧As含有量 %	—	4.50	—	—	—					
旧As針入度	—	22	—	—	—					
圧裂係数	—	1.34	—	—	—					

骨材粒度設計（修正後）

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC0フォームト)

試験者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨材	碎石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉			
配合率 A %	33.5	50.0	3.0	11.5	2.0			
通過質量百分率 B %	53mm							
37.5								
31.5								
26.5								
19	100.0							
13.2	98.9	100.0	100.0					
9.5								
4.75	5.2	66.8	99.4					
2.36		44.5	88.1	100.0				
1.18								
600 μm		30.2	35.2	99.0				
300		20.3	12.3	71.6	100.0			
150		12.0	2.8	4.1	98.1			
75		9.1	1.0	1.1	88.4			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

合成目標

53mm								
37.5								
31.5								
26.5								
19	33.5							100.0 100.0
13.2	33.1	50.0	3.0					99.6 97.5
9.5								
4.75	1.7	33.4	3.0					51.6 45.0
2.36		22.3	2.6	11.5				38.4 37.5
1.18								
600 μm		15.1	1.1	11.4				29.6 30.0
300		10.2	0.4	8.2	2.0			20.8 22.5
150		6.0	0.1	0.5	2.0			8.6 10.0
75		4.6	0.0	0.1	1.8			6.5 7.0

4. 骨材の密度による配合率の補正

骨材								計	
① 配合率									
② 密度									
③ = ① × ②									
補正配合率 ③ / 計 × 100									

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト')

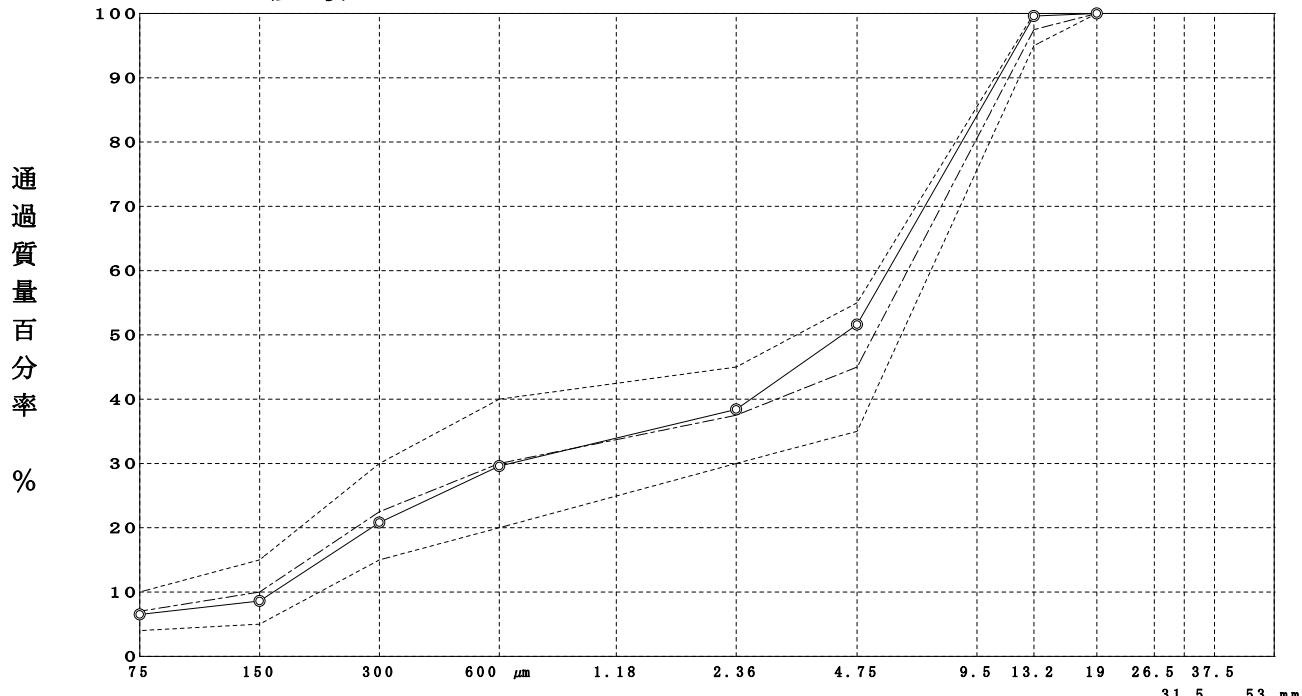
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.5	99.6	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75	51.1	51.6	45.0	35 ~ 55
2.36	42.3	38.4	37.5	30 ~ 45
1.18				
600 μm	32.5	29.6	30.0	20 ~ 40
300	23.6	20.8	22.5	15 ~ 30
150	10.6	8.6	10.0	5 ~ 15
75	8.6	6.5	7.0	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
----- 目標粒度
—— 修正後



ふるい目

設計圧裂係数への調整（添加剤量）

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

試験項目	材料名	再生骨材			規格値
通過質量百分率%	53 mm				
	37.5				
	31.5				
	26.5				
	19				
	13.2	100.0			
	9.5				
	4.75	66.8			
	2.36	44.5			
	1.18				
	600 μm	30.2			
	300	20.3			
	150	12.0			
	75	9.1			
旧アスファルト含有率 %	4.50				3.8以上
圧裂係数 MPa/mm	1.34				1.70以下
微粒分量試験による損失量 %	1.7				5以下
最大密度	2.491				

再生添加剤の性状

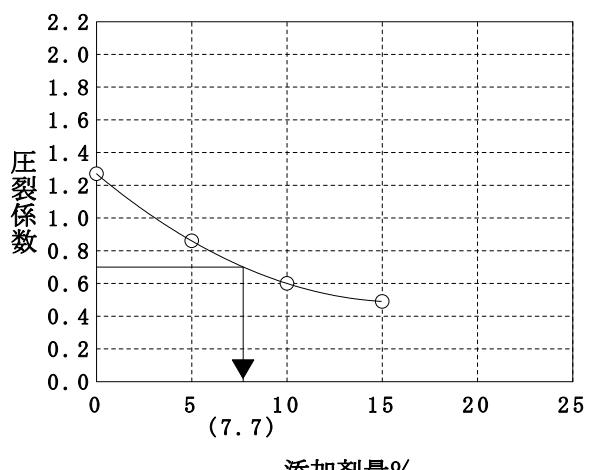
項目	試験値	標準的性状
動粘度 (60°C) mm ² /s	88.01	80~1000
引火点 °C	306	250以上
薄膜加熱後の粘度比 (60°C)	1.09	2以下
薄膜加熱質量変化率 %	-0.25	±3%以内
密度 (15°C) g/cm ³	0.941	

<添加剤量と圧裂係数の関係>

添加剤量	0.0	5.0	10.0	15.0
圧裂係数	1.27	0.86	0.60	0.49

設計圧裂係数	0.70	(規格値 0.60 ~ 0.80)
--------	------	--------------------

設計圧裂係数への調整



<設計圧裂係数への調整結果>

設計添加剤量	7.7
設計添加剤量 (対混合物)	0.18

理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト')

試験者 大西 康夫

骨材の種類	A 骨材のみ					B(旧アスファルト含む)		
碎石6号	33.5					33.50		
再生骨材	50.0					52.36		
粗砂	3.0					3.00		
細砂	11.5					11.50		
石粉	2.0					2.00		

理 論 最 大 密 度 計 算 表

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC07フォームト')

試験者 大西 康夫

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度(g/cm ³)			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表乾	かさ	見掛け		
碎石6号	33.50	2.682	2.662	2.717	2.717	12.330
再生骨材	52.36				2.491	21.020
粗砂	3.00	2.592	2.556	2.651	2.651	1.132
細砂	11.50	2.589	2.545	2.661	2.661	4.322
石粉	2.00			2.710	2.710	0.738
RJ-T	0.18				0.941	0.191
Σ ②=	102.54				Σ ⑤=	39.733

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの 密 度	⑧ Σ ⑥/⑦	⑨ Σ ⑤	⑩ Σ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 (Σ ②+⑥)/⑩
2.17		2.117	39.733	41.850	2.502
2.72		2.654	39.733	42.387	2.483
3.28		3.200	39.733	42.933	2.465
3.84		3.746	39.733	43.479	2.447
4.41		4.302	39.733	44.035	2.429
2.95		2.878	39.733	42.611	2.476

マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC07オームト')

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.024 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 230 ℃

突固め温度 160 ℃ 突固め回数 50 回 力計の係数(B) 0.1187

供 試 体 条 件 番 号	供 試 体 ア ス フ アル ト 量 %	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
		供試体寸法					空中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	密 度		ア ス フ アル ト 積 (cm ³)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度		フ ロ ー 値 1/100 cm	窓 フ ロ ー 値 kN/m			
		厚さ(cm)								か さ (cm ³)	理 論 (g/cm ³)											
		1	2	3	4	平均				⑨-⑧	⑦/⑩											
標準	4.5					6.40	1222.8	703.3	1223.4	520.1	2.351							73	8.67	26		
						6.39	1220.3	704.6	1220.8	516.2	2.364							78	9.26	32		
						6.27	1220.6	706.1	1221.1	515.0	2.370							74	8.78	30		
		平均										2.362	2.502	10.4	5.6	16.0	65.0		8.90	29	3069	
標準	5.0					6.42	1227.2	708.3	1227.6	519.3	2.363							85	10.09	30		
						6.30	1226.8	711.1	1227.0	515.9	2.378							82	9.73	34		
						6.41	1227.6	712.1	1227.9	515.8	2.380							87	10.33	29		
		平均										2.374	2.483	11.6	4.4	16.0	72.5		10.05	31	3242	
標準	5.5					6.43	1236.9	716.8	1237.2	520.4	2.377							82	9.73	33		
						6.25	1234.7	718.4	1234.9	516.5	2.391							91	10.80	34		
						6.43	1233.2	712.8	1233.4	520.6	2.369							85	10.09	34		
		平均										2.379	2.465	12.8	3.5	16.3	78.5		10.21	34	3003	
標準	6.0					6.27	1240.5	716.7	1240.6	523.9	2.368							75	8.90	38		
						6.30	1239.4	717.5	1239.4	521.9	2.375							80	9.50	40		
						6.33	1237.6	718.5	1237.6	519.1	2.384							76	9.02	38		
		平均										2.376	2.447	13.9	2.9	16.8	82.7		9.14	39	2344	
標準	6.5					6.44	1245.1	721.4	1245.2	523.8	2.377							59	7.00	46		
						6.35	1247.0	720.0	1247.0	527.0	2.366							64	7.60	45		
						6.29	1248.7	720.5	1248.9	528.4	2.363							59	7.00	45		
		平均										2.369	2.429	15.0	2.5	17.5	85.7		7.20	45	1600	

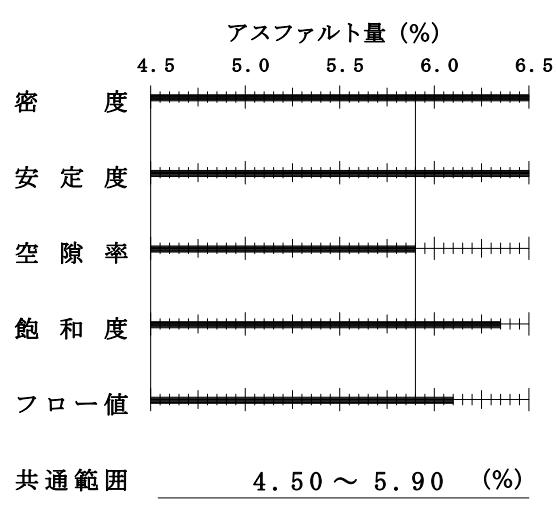
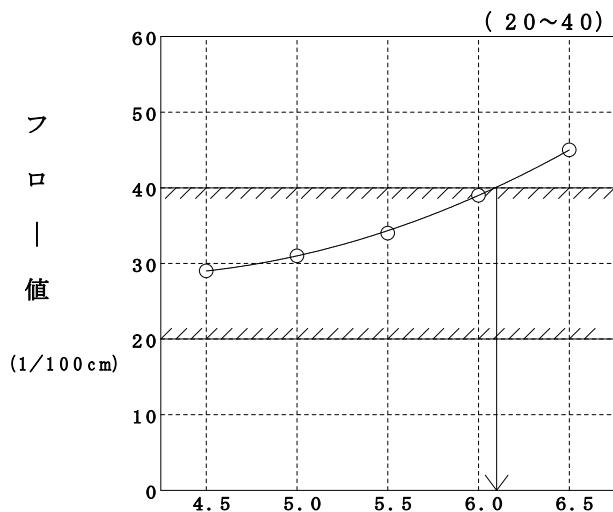
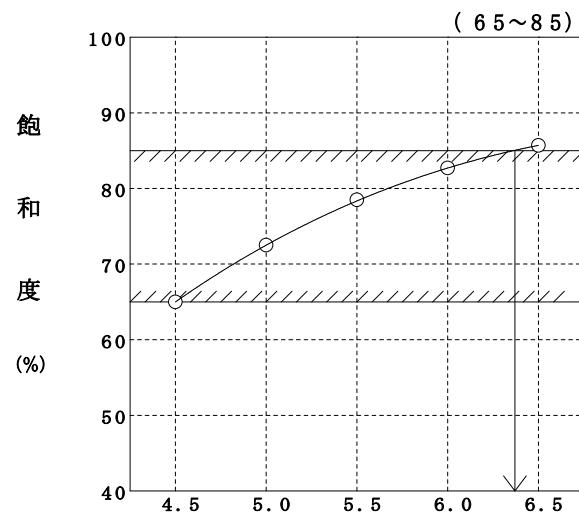
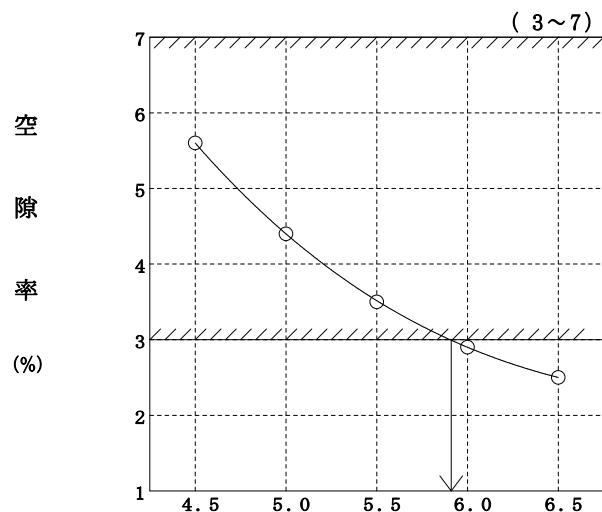
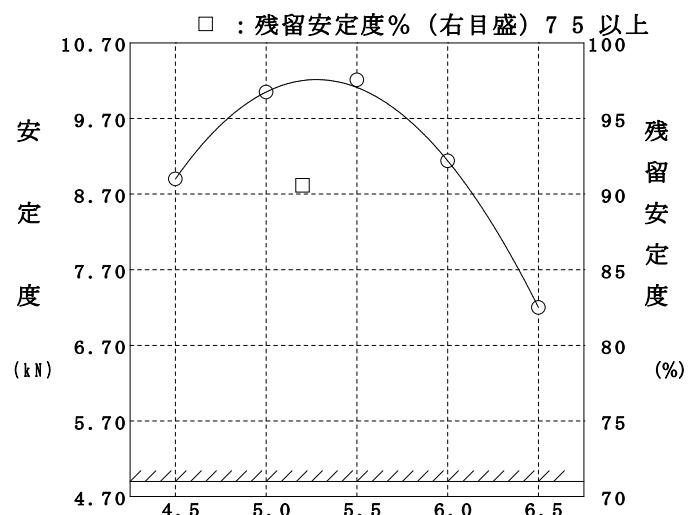
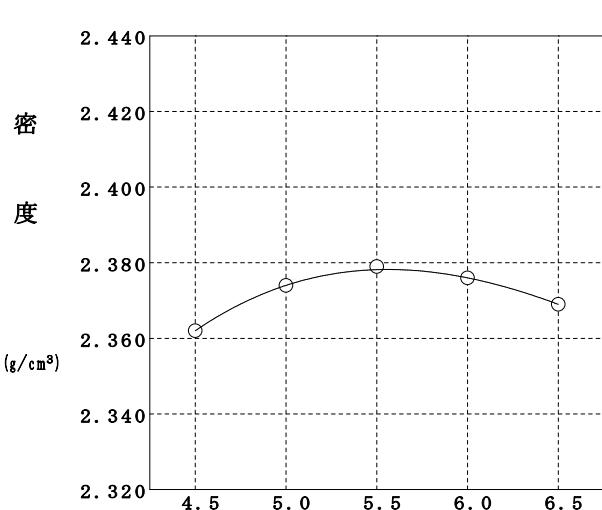
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫



殘留安定度試驗

目 的 配 合 設 計 (殘留)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC07オームト³)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.024 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 230 ℃

突 固 め 温 度 160 °C 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187

ホットビン粒度設計（修正後）

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨材	1 ピン	2 ピン	3 ピン	再生骨材	回収ダスト	石粉		
配合率 A %	15.0	3.5	29.5	50.0	0.5	1.5		
通過質量百分率 B %	53 mm							
	37.5							
	31.5							
	26.5							
	19		100.0					
	13.2	100.0	99.0	100.0				
	9.5							
	4.75	100.0	54.2	1.0	66.8			
	2.36	97.0	0.7		44.5			
	1.18							
	600 μm	82.5		30.2	100.0			
	300	54.6		20.3	99.0	100.0		
	150	2.4		12.0	87.2	98.1		
	75	1.0		9.1	71.4	88.4		

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) ×(B)							合成	設計
53 mm								
37.5								
31.5								
26.5								
19			29.5				100.0	100.0
13.2		3.5	29.2	50.0			99.7	99.6
9.5								
4.75	15.0	1.9	0.3	33.4			52.6	51.6
2.36	14.6	0.0		22.3			38.9	38.4
1.18								
600 μm	12.4			15.1	0.5		29.5	29.6
300	8.2			10.2	0.5	1.5	20.4	20.8
150	0.4			6.0	0.4	1.5	8.3	8.6
75	0.2			4.6	0.4	1.3	6.5	6.5

4. 骨材の密度による配合率の補正

ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC0フォームト)

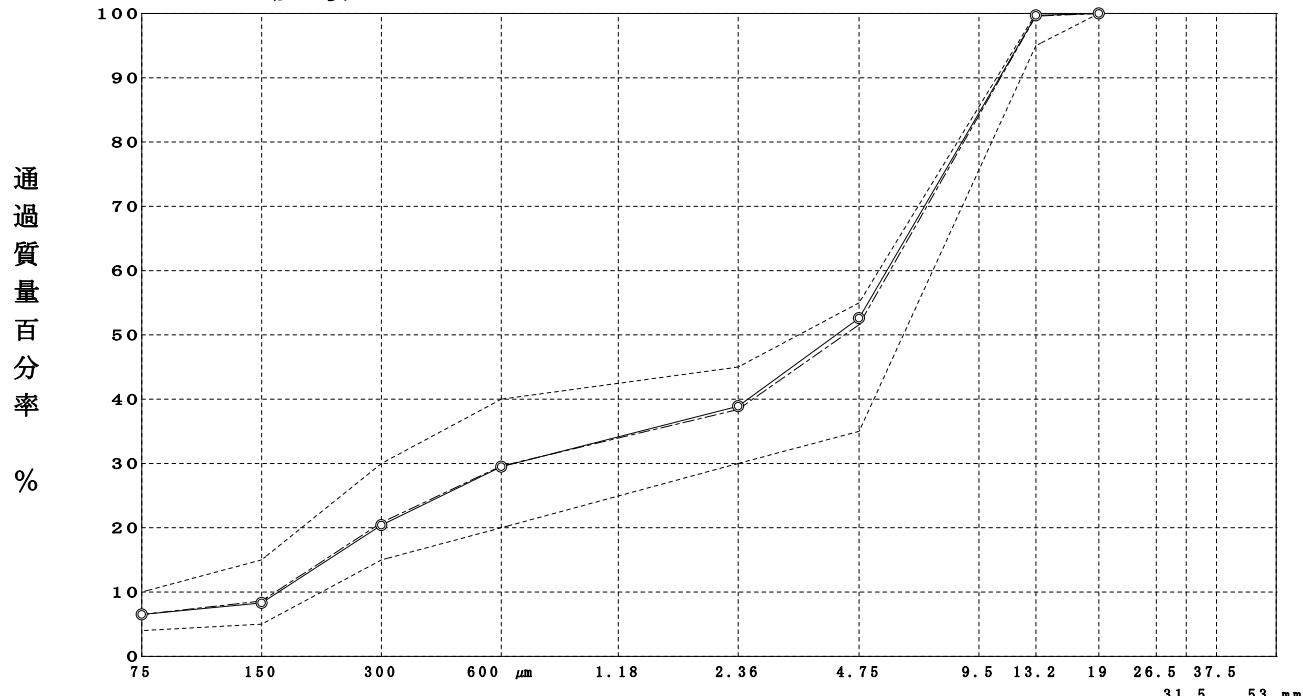
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.7	99.7	99.6	95 ~ 100
9.5				
4.75	54.4	52.6	51.6	35 ~ 55
2.36	35.5	38.9	38.4	30 ~ 45
1.18				
600 μm	29.7	29.5	29.6	20 ~ 40
300	22.6	20.4	20.8	15 ~ 30
150	11.0	8.3	8.6	5 ~ 15
75	9.2	6.5	6.5	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
----- 目標粒度
——— 修正後



ふるい目

理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫

理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	配合率(%)	骨材の密度(g/cm ³)			計算に用いる密度	②/④
		表乾	かさ	見掛け		
碎石6号	33.50	2.682	2.662	2.717	2.717	12.330
再生骨材	52.36				2.491	21.020
粗砂	3.00	2.592	2.556	2.651	2.651	1.132
細砂	11.50	2.589	2.545	2.661	2.661	4.322
石粉	2.00			2.710	2.710	0.738
RJ-T	0.18				0.941	0.191
Σ ②=	102.54				Σ ⑤=	39.733

マ 一 シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOFOR-MT[®])

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.024 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 230 ℃

突 固 め 温 度 160 °C 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187

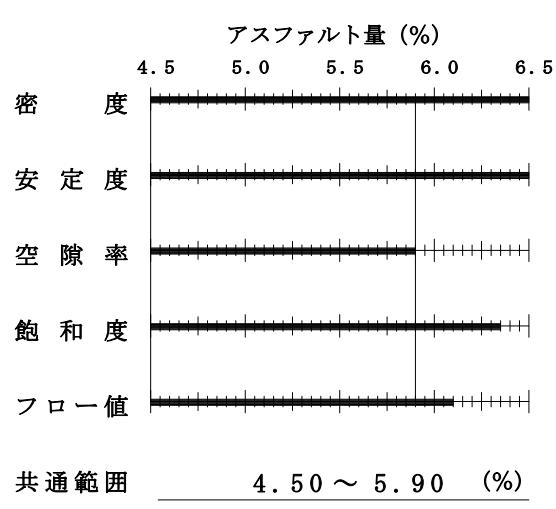
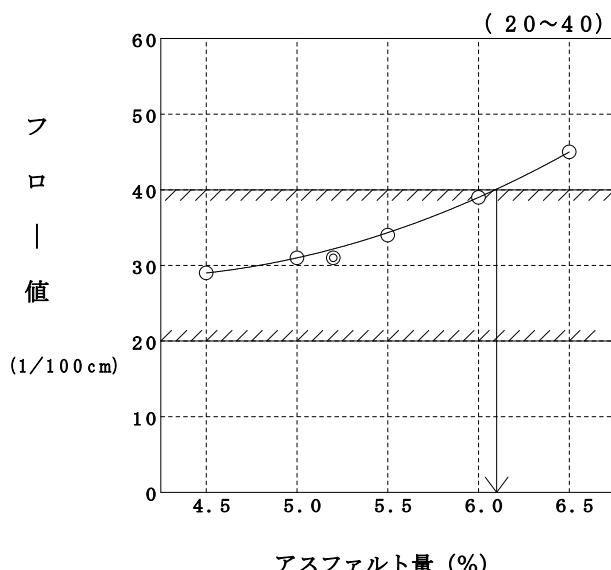
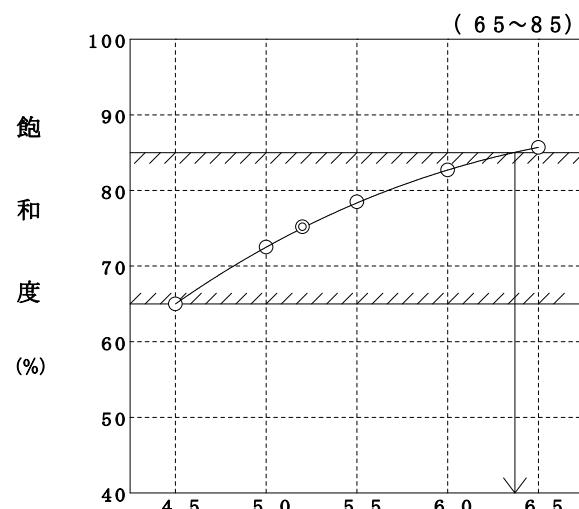
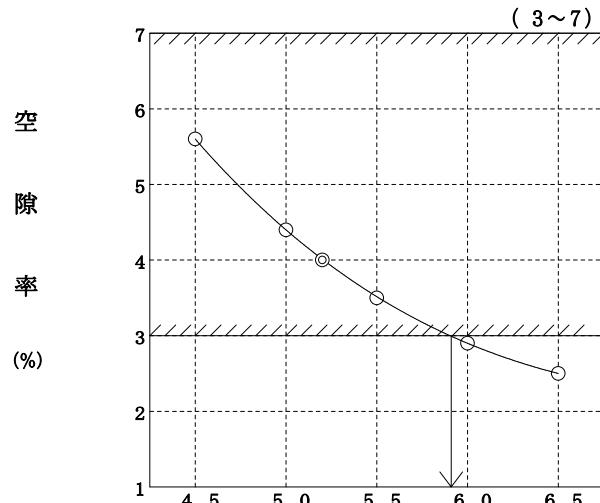
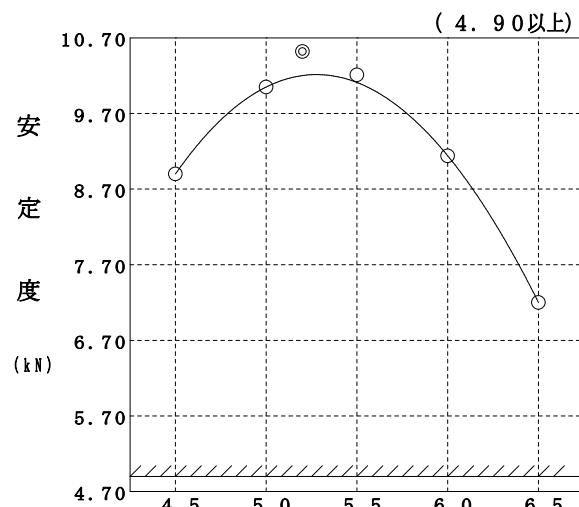
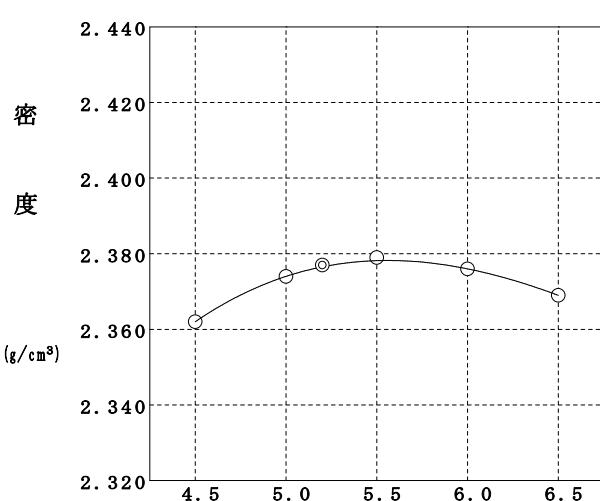
マーシャル安定度試験

目的配合設計(現場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫



設計アスファルト量 5.2 (%)

現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合 設計 (現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月 14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) 改質II型(EC0フォームト[®])

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトII型

アスファルトの密度 (A) 1.024 アスファルトの温度 180 °C

骨材の温度 230 °C 突固め温度 - °C 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187 kN

試験 件 号	供 試 体 番 号	① 突 固 め 温 度 (°C)	② 供 試 体 平 均 厚 (cm)	③ 供 試 体 中 質 量 (g)	④ 空 中 質 量 (g)	⑤ 水 中 質 量 (g)	⑥ 表 乾 質 量 (g)	密 度		ア容 ス フ アル ト 積 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度		フ ロ ー 力 計 の 読 み	安 定 度 1/100 cm	安 定 度 /フ ロ ー 1/kN/m	
								か	理					⑦ ⑧	⑨ ⑩	⑪ ⑫			
								⑤-④	③/⑥				①×⑦ (A)		⑨+⑩ ⑩×100		(B) × ⑩		
	1		6.40	1230.5	713.1	1230.8	517.7	2.377								90	10.68	31	
	2		6.26	1231.3	718.3	1231.6	513.3	2.399								90	10.68	31	
	3		6.32	1231.3	715.1	1231.6	516.5	2.384								94	11.16	34	
		A s 量																	
		5.2																	
		平均								2.387	2.476	12.1	3.6	15.7	77.1		10.84	32	3388
																86	10.21	32	
		4		6.35	1231.7	716.2	1232.0	515.8	2.388							93	11.04	30	
		5		6.38	1231.3	712.9	1231.6	518.7	2.374							89	10.56	34	
		6		6.30	1231.7	715.3	1232.0	516.7	2.384										
		A s 量																	
		5.2																	
		平均								2.382	2.476	12.1	3.8	15.9	76.1		10.60	32	3313
																90	10.68	32	
		7		6.37	1229.7	713.5	1230.0	516.5	2.381							84	9.97	29	
		8		6.35	1230.4	713.9	1230.7	516.8	2.381							88	10.45	31	
		9		6.41	1231.0	711.5	1231.3	519.8	2.368										
		A s 量																	
		5.2																	
		平均								2.377	2.476	12.1	4.0	16.1	75.2		10.37	31	3345
																78	9.26	30	
		10		6.37	1231.3	709.0	1231.6	522.6	2.356							84	9.97	31	
		11		6.27	1230.5	712.3	1230.8	518.5	2.373							80	9.50	32	
		12		6.44	1231.8	711.3	1232.1	520.8	2.365										
		A s 量																	
		5.2																	
		平均								2.365	2.476	12.0	4.5	16.5	72.7		9.58	31	3090
		平均																	

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7}/\textcircled{8}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計(現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月14日

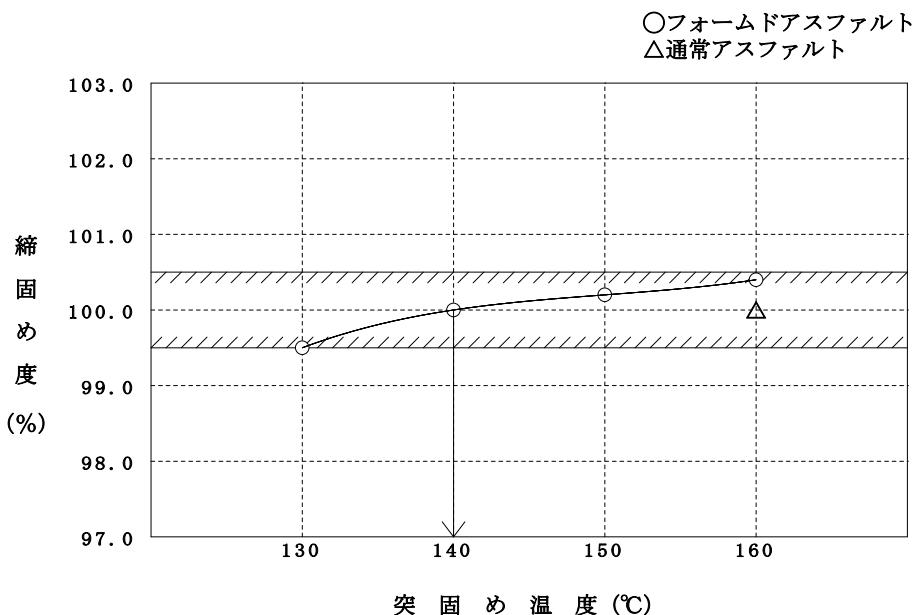
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC0フォームト[®])

試験者 大西 康夫

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、締固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

締固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm ³)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	締固め度 (%)
中温化	突固め温度	As量	規格	—	—	3~7	65~85	4.90以上	20~40	—
未使用	160 °C	5.2 %	—	2.476	2.377	4.0	75.2	10.52	31	100.0
	160 °C		—	2.476	2.387	3.6	77.1	10.84	32	100.4
	150 °C		—	2.476	2.382	3.8	76.1	10.60	32	100.2
	140 °C		—	2.476	2.377	4.0	75.2	10.37	31	100.0
	130 °C		—	2.476	2.365	4.5	72.7	9.58	31	99.5



グラフより、

締固め度100.0%が得られる突固め温度は140°Cとなった。

締固め度99.5%~100.5%が得られる突固め温度は130°C~160°Cとなった。

現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場 突固め下限温度)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(ECOフォームト[®])

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生改質アスファルトⅡ型

アスファルトの密度 (A) 1.024 アスファルトの温度 180 °C

骨材の温度 210 °C 突固め温度 140 °C 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187 kN

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7}/\textcircled{8}) \times 100$$

現場配合の決定

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)改質II型(EC0フォームト[®])

試験者 大西 康夫

1バッチ 1000 kg

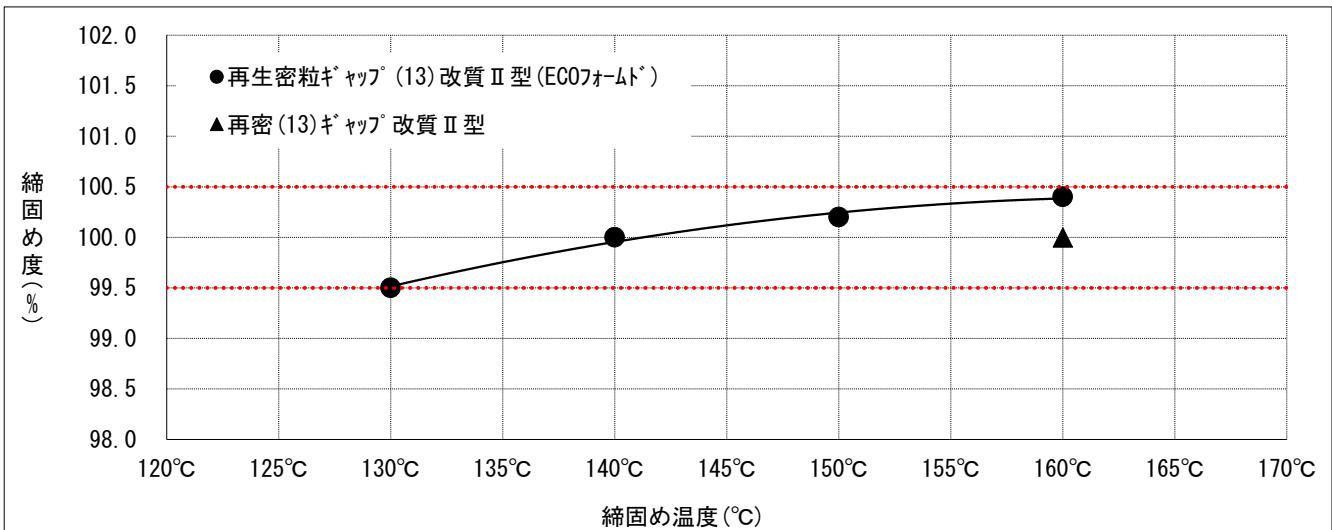
	骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1 ビン	15.0	15.00	14.22	142	142
2 ビン	3.5	3.50	3.32	33	175
3 ビン	29.5	29.50	27.97	280	455
回収ダスト	0.5	0.50	0.47	5	5
石粉	1.5	1.50	1.42	14	14
再生骨材	50.0	52.36	49.64	498	498
旧アスファルト		(2.36)	(2.24)		
再生用添加剤		0.18	0.17		
新アスファルト		2.95	2.79	28	28
合計	100.0	105.49	100.00	1000	1000

※添加剤はドライヤ内添加のため
再生材の計量値に含まれます。

フォームド混合物の温度管理目標値一覧

混合物の締固め特性

項目	規格値	混合物の種類					
		再密(13)ギヤップ改質Ⅱ型	再生密粒ギヤップ(13)改質Ⅱ型(ECOフォームド)				
締固め温度	°C	-	160°C	160°C	150°C	140°C	130°C
密度	g/cm³	-	2.377	2.387	2.382	2.377	2.365
締固め度	%	-	100.0	100.4	100.2	100.0	99.5
空隙	%	3~7	4.0	3.6	3.8	4.0	4.5
安定度	kN	4.90以上	10.52	10.84	10.60	10.37	9.58
フロー	1/100cm	20~40	31	32	32	31	31



温度管理目標値

	低 減 温 度 °C	0	10	20	30
夏季	出 荷 温 度 °C	180±10	170±10	160±10	150±10
	敷 均 温 度 °C	160以上	150以上	140以上	130以上
	初 期 転 壓 温 度 °C	160±10	150±10	140±10	130±10
冬季	出 荷 温 度 °C	180±10	170±10	160±10	150±10
	敷 均 温 度 °C	160以上	150以上	140以上	130以上
	初 期 転 壓 温 度 °C	160±10	150±10	140±10	130±10

※上記の温度管理目標値につきましては、当プラントの推奨する温度であり、規格値ではありませんのでご注意して下さい。

※現場条件（現場までの距離・施工方法・気象条件）等が異なるため、温度範囲につきましては、所定の締固め度が得られる範囲内で、各現場毎に検討して下さい。

舗装試験法便覧	ホイールトラッキング試験			報告用紙			
調査名・目的 再生密粒度 ^{ギャップ} アスコン(13)改質II型 混合物の種類 (ECOフォーム)		測定年月日 2025年2月14日					
バインダー量 改質As II型: 5.2%		試験者 尾田 崇馬					
走行方式 クランク式・ チーン 式		タイヤゴム硬度 78±2					
載荷荷重 686N		載荷方法 垂直式・空気圧式・その他					
供試体の種類 現場切取・現場作製・室内作製		室内養生 12時間					
供試体の寸法 長さ300 幅300 厚さ50 (mm)		走行回数 (A) 42回/分					
試験温度 60°C 養生時間 6時間		試験時間 60分 (B) 基準密度 2.377 g/cm ³					
供試体番号			1	2	3	平均	
供試体作製	① 供試体質量 (g)		10821	10689	10818		
	② 水中質量 (g)		—	—	—		
	③ 供試体体積 (cm ³)		4500	4500	4500		
	④ 供試体密度 (g/cm ³)	①/③	2.405	2.375	2.404	2.395	
	⑤ 締固め度 (%)	④/(B)*100	101.2	99.9	101.1	100.8	
ホイールトラッキング試験	走行時間 (分)	0	⑥ d 0				
		5	⑦ d 5				
		10	⑧ d 10				
		15	⑨ d 15				
		30	⑩ d 30				
		45	⑪ d 45	1.25	1.58	1.35	
		60	⑫ d 60	1.39	1.72	1.49	
	⑬ 変形量の差(mm)		⑫-⑪	0.14	0.14	0.14	⑭ 0.14
	⑮ D S (回/mm)		(A)*15/⑬	4500	4500	4500	
	⑯ 平均D S (回/mm)		(A)*15/⑭				⑯ 4500
	⑰ 平均値との差の平方		(⑯-⑮) ²	0	0	0	Σ⑰ 0
	⑲ 標準偏差		$\sqrt{(\sum \text{⑰})/(n-1)}$	—	—	—	0
	変動係数 (%)		⑲/⑯*100	—	—	—	⑳ 0.0
圧密変形量 d o (mm)		⑪*4-⑫*3	0.83	1.16	0.93	0.97	
時間-変形量曲線の形状			1 上凸型	2 直線型	3 変曲型		
備考							